

富士宮市史編さんだより



江戸時代の古文書の調査

令和8年度刊行予定の『富士宮の歴史 通史編Ⅱ』では、主に江戸時代（1603～1868）の歴史を扱います。基本となる資料は、昔の人たちが書き記した文書（古文書）です。

江戸時代は戦乱が終息し、社会が比較的安定していた時代です。村や町の支配、争いごとの解決など、様々な記録が文書の形で残されるようになりました。中世の古文書と比べると、まとまった数量で発見されることが多く、中には、1軒の家から何千点もの古文書が見つかることもあります。

富士宮市では、これまでも古文書を所蔵する家の情報を収集し、調査してきました。その成果はかつての『富士宮市史』や、1980年～90年代に刊行された『静岡県史』などに見ることができます。

令和2年度に市史編さん事業が本格的にスタートして以降も、様々な情報が市史編さん室に寄せられています。市史編さん室では、重要な古文書群について、古文書1点ごとに表題・差出人・宛先などを記した目録を作成し、写真撮影をしています。目録作成・写真撮影をすることで、何千、何万とある古文書の中から、必要なものを探し出し、内容を読み解くことができるようになります。こうした作業を土台として、新しい市史の執筆・編集・刊行作業が行われます。また、集積された情報は、今後の調査・研究や学びにも活用されます。

古文書は倉庫や筆筒、仏壇など、まだ家の中で人知れず眠っている可能性があります。こうした古文書の情報がありましたら、是非市史編さん室までお寄せください。



江戸時代の古文書



目録作成



民家の倉庫に残されていた古文書



写真撮影

お知らせ — 富士宮市史講演会開催 —

1954(昭和 29)年富士宮の熱い夏

— 近江絹糸人権争議と富士宮市民 —

現在イオンモール富士宮店のある土地には、かつて近江絹糸（オーミケンシ）富士宮工場がありました。その近江絹糸では、1954年に全国的な労働争議（当時人権争議と言われました）が発生し、富士宮工場でも市民を巻き込んで激しい争議が闘われました。市史編さん事業における資料収集・調査の成果をもとに、1954年富士宮の熱い夏を振り返ります。

講師 橋本誠一（静岡大学名誉教授、富士宮市史編さん委員会副委員長）

日時 2025年3月8日(土)
14:00～15:30(13:30 開場)

会場 駅前交流センターきらら 集会室

定員 80人(先着順) **入場料** 無料

【申込】

2月3日(月)から電話（☎0544-22-1187）

または Web サイトで

☞ [https://logoform.jp/form/](https://logoform.jp/form/GgrE/852773)

GgrE/852773



Web 申込はこちら



古い資料を探しています！！

これまでに市で調査・収集してきた多くの歴史資料を活用するほか、新たな資料の調査・収集も行っています。お持ちの資料がありましたら、市史編さん室までご連絡ください。

状態が悪いもの、判断がつきにくいもの、よくわからないものでも、お気軽にお問い合わせください。ご協力よろしくお願ひします。

— 探している資料 —

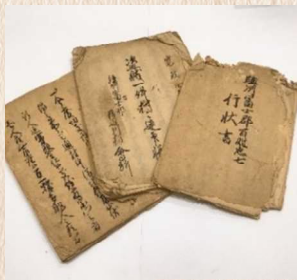
江戸時代以前から明治、大正、昭和 30 年代頃までのもの

◆古文書類◆

古い文書・日記・印刷物・古地図・絵図

◆写真・絵葉書類◆

市内の景観(街並み・風景)、行事、生活、服装などがわかるもの



古文書



古い写真



古い絵葉書

[発行] 富士宮市文化課市史編さん室 〒418-8601 富士宮市弓沢町 150 番地

☎ 0544-22-1187 ☞ e-bunka@city.fujinomiya.lg.jp

☞ <http://www.city.fujinomiya.lg.jp/citizen/shishi/shishi.html>

